

平成15年9月8日
原子力安全対策課
(15-59)
<18時20分記者発表>

新型転換炉ふげん発電所での火災警報の発報について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん（新型転換炉；定格電気出力16.5万kW）は、平成15年3月29日に運転を終了した。

本日9月8日17時06分頃、「トリチウム除去装置建屋」の火災警報が発報した。重水精製建屋の排気筒から白い煙が出ているのが確認されている。

現場に立ち入ったところ、同建屋1階に設置されている後置フィルタが黒く焦げているのが確認されるとともに、ビニールが焦げたような臭いがしているのが確認された。現在、さらに現場調査を行っているところである。

なお、重水精製建屋排気筒など、放射線モニタの指示に変動はなく、環境への放射能の影響はない。

重水精製装置、については停止中である。